学校番号	２１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ボールペンや筆ペンによる正しく美しい文字の書き方の習得を目指します。
・毛筆の基本技術、書道全般の基礎知識を学び、手紙や年賀状など、社会に出てからも役立つ実用的な作品制作をします。

2　学習の到達目標

実用書の幅広い活動を通して、基本的な書写表現の技術を向上させ、実生活の中にある書式を学び、記入を体験する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

（１）　実用書道の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、手紙や履歴書の書き方などの実用的なものから、創作作品まで幅広く取り組み技能を身につけるようにする。

（２）　実用書道のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫し、ボールペンや筆ペンの扱いに慣れ、正しく美しく書くことができるようにする。

（３）　主体的に実用書の幅広い活動に取り組み、漢字・平仮名・片仮名の成り立ちを知り、文字の知識を深め、実用書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要であり、実用的な知識や技能を身につけている。	実用的な表現を工夫したり、硬筆や筆ペンのよさや美しさを味わい深く捉えたりしている。	主体的に実用的な漢字仮名交じりの作品の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ペン字　基本点描	漢字・ひらがな・カタカナの基本点描	a: 文字を正確に、美しく書く技能を身につけている b: 手本をよく観察し、文字のバランス、全体構成等を構想し、工夫して表現している c:書くことに関心を持ち、硬筆学習を通して「書く力」を身につけ、学習活動に取り組もうとしている	書写の様子 作品	書写の様子 作品	学習活動の様子 書写の様子 提出物

2学期	ペン字　楷書　漢字仮名交じり文・筆ペン	歌詞を書く・履歴書・手紙・年賀状・ポスター	a: 身の周りにある実用的な書に着眼し、その美しさを味わい、実用書の機能性を理解している。 b: 様々な用材を用い、それぞれの特徴を生かしながら、その場面に応じた美しい文字を表現している。 c: 主体的に、自己の技量を高めるため意欲的に取り組んでいる。	制作の様子 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品 提出物
	ペン字　行書の基礎	漢字、ひらがなの行書	a: 文字を正確に、美しく書く技能を身につけている b: 手本をよく観察し、文字のバランス、全体構成等を構想し、工夫して表現している c:新しい書体に関心を持ち、楷書と行書の違いを観察し、表現に結び付け、学習活動に取り組もうとしている	書写の様子 作品	書写の様子 作品	学習活動の様子 書写の様子 提出物
3学期	色紙作成・書道リレー	色紙に好きな四字熟語・今年の目標 グループで書道リレーをして全紙二分の一に漢字1文字を書く	a: 基礎的な創作の技能を身に付けている b:協調性がありグループ全体で構成について構想し工夫している。 c: 主体的に創作について関心を持ち、表現や学習活動に取り組もうとしている	創作の様子 作品	創作の様子 作品	学習活動の様子 創作の様子 作品 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度